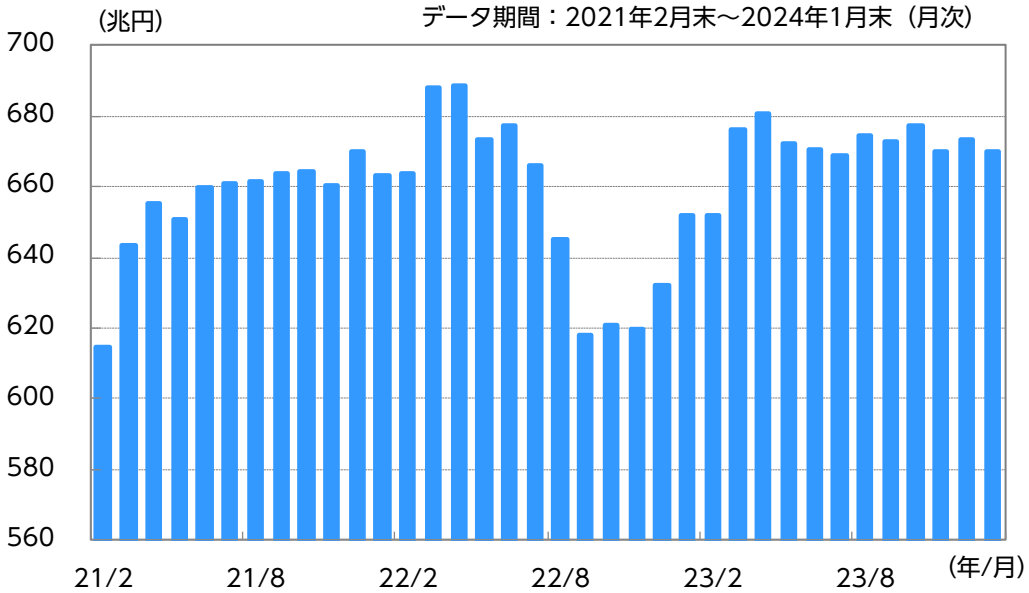
国内長期金利見通し

- 1月の全国消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は前年同月比+2.0%となり、2023年12月の同＋2.3%から伸びが低下しました。
- 日銀は1月の金融政策決定会合で、大規模な金融緩和政策の現状維持を決定。
- 市場では目先の金融政策正常化に向けた動きに注目が集まるも、中期的には海外金利の低下を受け、0%台後半で推移するものと想定。

【 日銀のマネタリーベースの推移 】



【 国内債券利回り 】

マネタリーベース：流通現金（「日本銀行券発行高」＋「貨幣流通高」）と日本銀行当座預金（日銀当座預金）の合計値

出所)ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

ご留意いただきたい事項　●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものです。●投資信託は値動きのある資産を投資対象としており、基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割込むおそれがあります。ファンドによって投資対象資産や投資規制、投資対象国などが異なるため、リスクの内容や性質が異なります。また、投資信託のお申込時、保有期間中、およびご換金時には費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料に記載されている各指数、統計資料等の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各算出先、公表元に帰属します。 ●当資料に記載されている内容は作成日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。●当資料のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の市場環境の変動や投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。